



4年ぶりのリアルな大会となった第39回日本女性会議に初めて参加しました。日本女性会議は1984年に第一回が開催され、日本の男女共同参画社会の実現に向けた多く

の課題への取り組み、地域のネットワーク作りなどが目的です。全国から参加者が来られていました。皆さんの魅力ある企画の中で、参加した分科会の報告をします。

「未来創造コンテスト～高校生が夢をかなえる第一歩」
高校生たちのコミュニケーション力が高い！

高校生7チーム23人がSDGsに取り組みながら地域の活性化を考え、パワーポイントを駆使しながらプレゼンをし、東京大学名誉教授の上野千鶴子さん、リコージャパン(株)米谷正児さんが助言するという企画でした。ジェンダーや、性的マイノリティに関わる捉え方、地元の古い建造物を生かしたまちづくりの想いを発表した高校生に、上野さんが、子ども扱いすることなく、

「なぜその問いを思い浮かんだのか」「建物を保存したいと地元や役所は考えているのか」など、それぞれの発表に視点を広げるアドバイスがあり、発表者も参加者も学べるいい時間でした。人口減少を危惧する高校生も結局は、都会へ出てみたいという思いを素直に述べ、若者が住み続けたい魅力あるまちづくりを、大人が考える宿題をもらいました。本市にとっても重要課題です。

「避難行動要支援者について知る～あなたの近くの支援が必要な人へ、いざというときに～」
災害は突然にやってくる！

避難行動要支援の取り組みは、本市でも推進しています。顔の見える関係性を築き上げることは一朝一夕にはできません。さまざまに特性があり、日常と違うことへの不安や恐怖は、普段ならとれる行動もできなくなる可能性もあります。毎年のように起こる豪雨災害、地震、停電、今年もあったような水道が止まるようなことがあつては、独居や認知症を患った高齢者、障が

い者、自宅で過ごす医療的ケア児への支援が、コロナ禍の訓練不足もある中で、迅速にできるのか本当に不安です。個人のプライバシーも大切ですが、いざという時、命を守るためにできること、逃げるといふことは「どこへ」「どんなふう」「誰と」など、具体的に普段からシュミレーションしておくことが最重要課題だと思いました。今後も本市での具現化をはかっていきたいと思ひます。



行ってみました！ 初議会傍聴日記

私は社会福祉を学んでいる大学生です。9月に実施された市議会に初めて傍聴に行きました。ありさんは、インクルーシブ教育のあり方、労働者共同組合法の取り組みについて質問をされていました。中では、普段から当事者の方の話を聴いているからこそできる、一歩踏み込んだ質問の内容が伝わってくる場面もありました。その姿を見て、議会に声を届けるとは、人の話を聴き、想いを受け止めて、

市政に繋げることだと感じました。わかりづらいことには「もう一度お願いします」、その後には「ありがとうございます」と相手を尊重した発言をされていたことが印象的でした。また、機会があれば傍聴に行きたいです。(碧)

ひとこと

若い世代が政治に興味をもち、身近な問題と一緒に考えるきっかけになったら嬉しいです。

西川ありの市政報告は、政務活動費で作成しています。ご感想やご意見をお寄せください。また、皆様の暮らしの困りごとなど、相談もお気軽にお寄せください。

発行：西川あり 八尾市本町2-2-23
tel/fax072-923-0293alitomo0509@gmail.com



2022年11月10日現在の情報で作成しています。



八尾市議会議員
西川あり 市政報告

vol. 10
2022年冬

学びの場の選択

「特別支援学級及び通級による指導の適切な運用について(通知)」※1 をめぐる状況について

インクルーシブ教育のあり方について

9月定例会にて個人質問をしました。

八尾市のインクルーシブ教育の推進について

A 互いに違いを認め合い、支え合う集団づくりや、児童・生徒一人一人を尊重する教育を進め、共に学び、ともに生きる教育を基本としたインクルーシブ教育をさらに推進していく。



たくさんの不安の声やどう決めて良いかわからないという声をお伝えしました。小学校6年生の保護者の方は、中学校まで相談に行くのはハードルが高く感じる方や、弾力的な校区運用を考える場合、どこに相談すればいいかわからない方がいらっしゃいます。中学生については、特別支援級に在籍する場合、高校受験に関して評定がつかないこと等の情報不足や不安が大きい等の質疑に、

・学校だけでなく教育相談(教育センター内)で相談して良い。

・学びの場の選択は、基本的に毎年合意形成を行うものなので、選択の変更の希望も認めていく。

とのことでした。教育長からの答弁では、「選択を迷う声をたくさん聞いている。大阪府からの通知もあり、合意形成が図れていない場合は、そのまま結構ですというようなことを、はっきりと言っている。一年間の猶予はあるということ。一番大事なことは、子どもの学びが本当にそこでできるのか、そういう環境であるのかを見つめ直す。一番良い機会と考える。」ということでした。

通知ありきではなく、子どもにとって最も良い選択をするための機会になること、またそのための環境の整備をするための1年になることを願います。

「特別支援学級及び通級による指導の適切な運用について(通知)」の考え方と今後のスケジュールについて

A これまで進めてきたインクルーシブ教育を推進する方針には変わりはない。学校への訪問や動画配信による説明を行なっている。最終の設置計画を提出し、年度末に学級数と教員配置が決定される。



※1…文部科学省から2022年4月に通知。障がいのある児童・生徒の自立と社会参加を見据え、一人一人の教育的ニーズに最も的確に答える指導を提供できる取り組みを、推進するよう通知があった。



詳細は、八尾市議会HPの個人質問動画配信にて

個人質問後の動きについて

保護者の有志の方々の要望が教育長に届けられました。また議員要望も出され、市長・教育長からの回答をいただきました。そこから、HP上での様々な説明や、Q&Aが出され、YouTubeでの教育長のメッセージも発信されました。学びの選択を安心してできるよう、今後も個々に適した十分な情報が提供され、寄り添った対応で合意形成がされていくことを望みます。

詳細は市のHPへ



🐕 視察に行ってきました。



子どもの遊び場 川崎市こども夢パーク

皆さんが子どもの頃はどんな遊びをしていましたか？「遊ぶ」ということも実は子どもの権利なんですよ！

「川崎市子どもの権利に関する条例」が2000年に成立し、子どもを一人の人間として尊重し、子どもの権利を守り、子どもが自分らしく生きていくことを支えるために作られ、それを具現化したのが「川崎市子ども夢パーク」なんです。

年齢や国籍、障害や病気といった違いにとらわれず、どの遊びも子どものやりたいを応援してくれます。「自分の責任で自由に遊ぶ」「自分の限界にも



挑戦できる」場所で、成功も失敗も体験から生まれ、その子自身の宝ものになっていきます。

学校に居場所を見つけられなかった子どもたちの新しい居場所も備わっています。まずはみんなでお昼ご飯を何しようかから考えて、買いに行って、料理する。コロナ禍の中でも休館にせず、感染対策をしながら子どもの遊びと居場所を守ってこられました。

このように、条例という形で、子どもの権利を具体的に保障する約束をすれば、人が変わっても制度は続きます。八尾市でも子ども権利の保障する約束をしたいと強く願っています。



東京都初 インクルーシブ公園 東京都砧公園「みんなのひろば」

インクルーシブとは…排除・分離・統合するのではなく、包含している状態。

誰もが自分らしくのびのびと、自分のペースで遊ぶことのできる安全な遊び場の整備に取り組む東京都で、2020年4月に「みんなのひろば」がオープンしました。

障がいのある子どもの関係者として肢体不自由、重症心身障がい、ダウン症、知的、視覚、聴覚、発達障害、またユニバーサルデザインの有識者など様々な関係者から公園づくりには意見聴取が行われたそうです。

園内は広々としていて、多様で特色のある遊具が全ての子どもを迎えています。NPOが入り、地域住民との連携が実践となり、2021年4月には東京都の「インクルーシブな遊び場の整備ガイドライン」が作成されました。

特になるほどと思ったのは、トイレにおける大型ベッドの設置です。今あるような乳幼児だけが使用できるベッドでは困る人がいます。どれだけの設備が健常児、者用に作られているか思い知らされました。

可能性の扉はいくつも待っていてくれます。扉をひとつずつ開けていきましょう！



▲車いすのままスロープであがり、車いすから降りてすべり台で遊べます。

◀周りの音が気になる子、気持ちを落ち着かせたい時などに利用できます。



八尾市内初のインクルーシブ遊具導入 南久宝寺公園の工事が始まります。



2022年度9月の補正予算から

物価高騰等に伴う八尾市の新たな支援策！



妊婦・未就学児・受験生等、インフルエンザワクチン接種の自己負担額が無償化！

Q 13歳以下は2回接種が望ましいと聞いている。7歳から12歳は本市では、1万3434人。13歳以下も対象に入ってもよかったのではないかと思いますがいかがでしょうか？

A 接種見込みは、1万8829人対象者のうち70%受診率で、1万3181人の想定。限られた財源の中、今回はこのように対象を判断した。

Q 受験生等の等に含まれる人で、学年相当だったり、受験をしない人もいて、自分が対象かどうか分からない人に、短い期間でどう知らせるのか？

A 勧奨の葉書は中学3年生と高校3年生の学年に個別通知する。それ以外の方にも広くホームページやポスターなどで周知に努める。

マイトング派の私

画: aipon



2021年度分 決算審査（保健福祉環境分科会）での質疑から

Q 清掃事業実績のごみ収集処理量について「容器包装プラスチック」と「ペットボトル」に関して目標値を超えておりますが、どう考えますか？

A 巣ごもり生活で家庭ごみが増加し、市民の皆様方が意識を持って分別に取り組んだ結果と見ている。

Q 八尾市は、プラスチックごみ0宣言をして、ごみ量の目標値を下げています。CO2削減のためには、家庭ごみ増加ということであれば、市民一人ひとりへの啓発が必要では？

A 今年度4月からプラスチック資源循環促進法が施行。対応を検討中。市民啓発にも取り組んでいく必要がある。広域環境施設組合4市の担当者での勉強会を立ち上げ検討を進めている。

アンケートからも、ゴミの減量や海洋汚染に関心はあるものの、自分1人が努力しても影響がないと思う方が多いです。私たち一人ひとりの意識の改革が必要なので、八尾市はリーダーシップを持って進めて欲しい

海洋プラスチックなどのゴミ問題や、温暖化を含む環境問題となると、私たちの生活を変える選択になってきます。生活様式や経済状況も多様であり、自分の生活を変えるのは本当に難しいと思います。一人ひとりに合った考えるきっかけと、社会制度そのものへの問いかけも必要になってくると思います。

要望